2017年度
第2四半期決算および通期業績見通し
説明資料

星光PMC株式会社（東証1部 4963）
2017年8月22日

目次

✧ Ⅰ.事業内容、当期の事業環境　P　2～3

✧ Ⅱ.2017年度 第2四半期決算（連結）　P　4～7

✧ Ⅲ.2017年度 通期業績見通し（連結）　P　8～9

✧ Ⅳ.事業別動向　P　10～14

✧ Ⅴ.中期経営計画「CS VISION-Ⅱ」　P　15～17

＜予想に関する注意事項＞
・本資料では情報の提供を目的としており、勧誘行為を行うものではございません。
・業績見通しは現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しでございますが、実際の売上高および利益は、記載している予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おき下さい。
・当社は業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではございません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。
・本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではございません。

Ⅰ.事業内容

➢ 製紙用薬品事業

サイズ剤
紙力増強剤
印刷適性向上剤
製紙用補助薬品

⇨ ‹主な用途›

紙　新聞用紙
印刷・情報用紙
家庭紙 他

板紙　段ボール原紙
紙器用紙 他

➢ 樹脂事業

各種印刷インキ用樹脂
記録材料用樹脂

⇨ ‹主な用途›

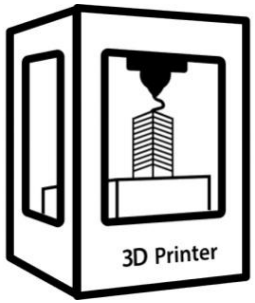
オフセットインキ
新聞インキ
フレキソインキ
グラビアインキ
トナー 他

➢ 化成品事業（KJケミカルズ株式会社）

各種機能性モノマー

⇨ ‹主な用途›

木工用UVコート剤、水系塗料、
製紙用薬品、石油掘削用ポリマー、
粘・接着剤、UVインキ、パーソナルケア、電子材料 他

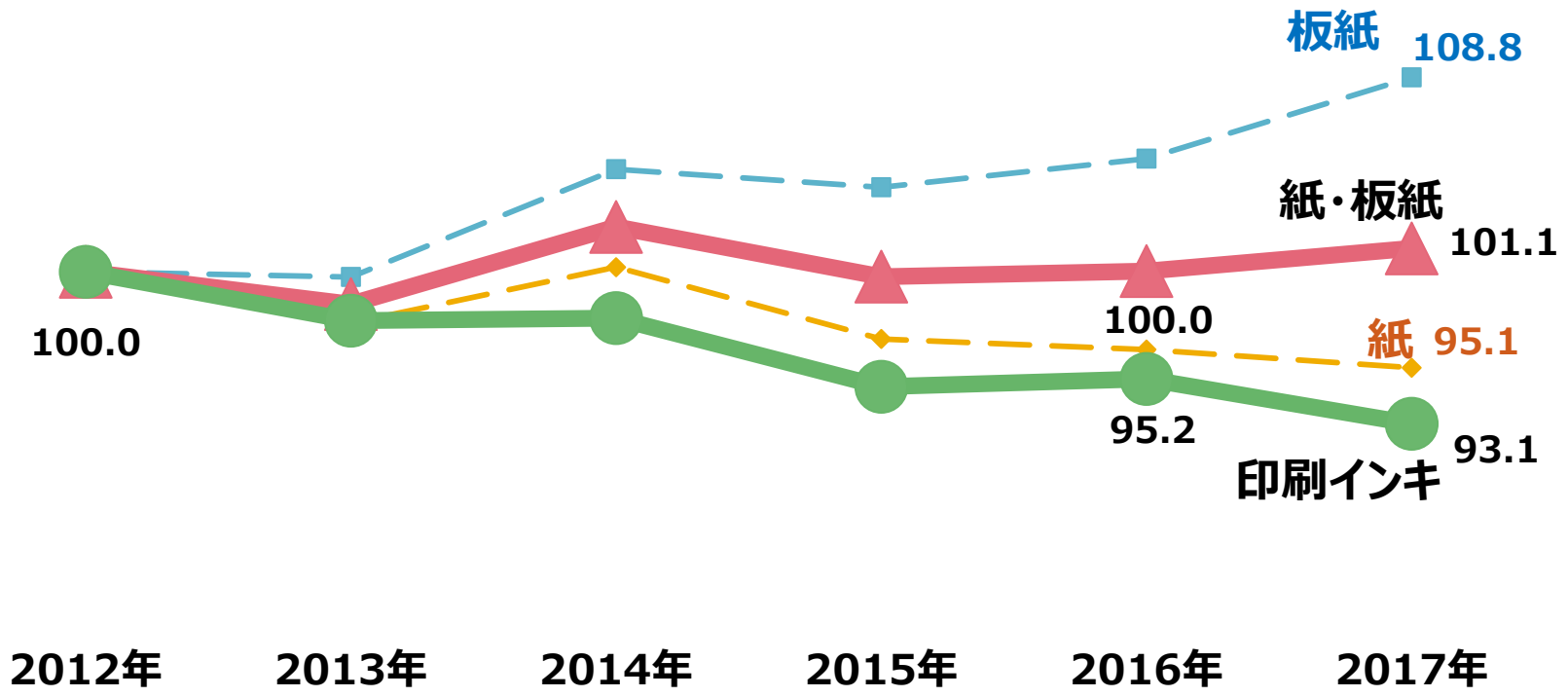


Ⅰ.当期の事業環境

・国内の紙・板紙の生産量は微増、印刷インキの生産量は微減。
(紙・板紙前年比+1.1%、印刷インキ▲2.1%)
・2012年から板紙は堅調、紙および印刷インキは減少基調が続く。

＜紙+板紙・印刷インキ国内生産量(上期)＞

＊2012年上期の生産量を100として、各年ごとの生産量を数値化



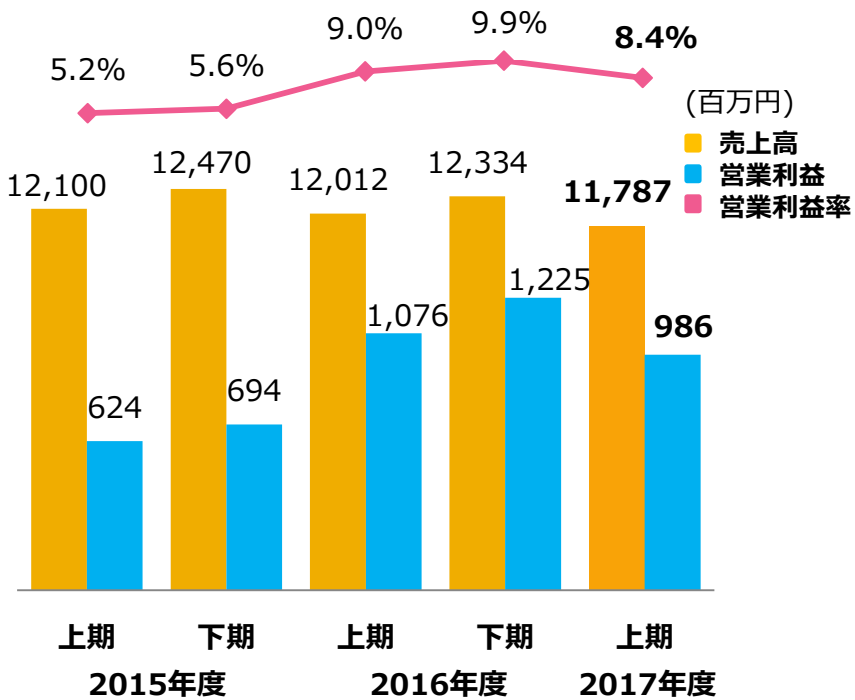
Ⅱ.2017年度 第2四半期決算（連結）概要

（１）決算の概況

(百万円)	2016年度（1-6月）	2017年度（1-6月）	前年同期比	
	実績	実績	増減	増減率
売上数量	79,984	78,153	▲1,831	▲2.3%
売上高	12,012	11,787	▲225	▲1.9%
営業利益	1,076	986	▲90	▲8.4%
営業利益率	9.0%	8.4%	-	-
経常利益*1	983	1,111	+128	+13.0%
経常利益率	8.2%	9.4%	-	-
当期純利益	820	903	+83	+10.1%
減価償却費	432	434	+2	+0.5%
設備投資	276	565	+289	+104.7%
研究開発費（対売上高比率）	833 (6.9%)	876 (7.4%)	+43	+5.2%

*1：新綜工業の株式取得（2017年3月）に伴う持分法利益（100百万円）を含む
*2：2017年上期平均 為替１ドル＝113円、ナフサ価格40,400円
（2016年上期平均 為替１ドル＝113円、ナフサ価格33,000円）

- 売上数量は2.3%減、売上高は1.9%減
  →国内外で販売苦戦
- 営業利益は8.4%の減益
  →人件費を中心とした製造経費、販管費増

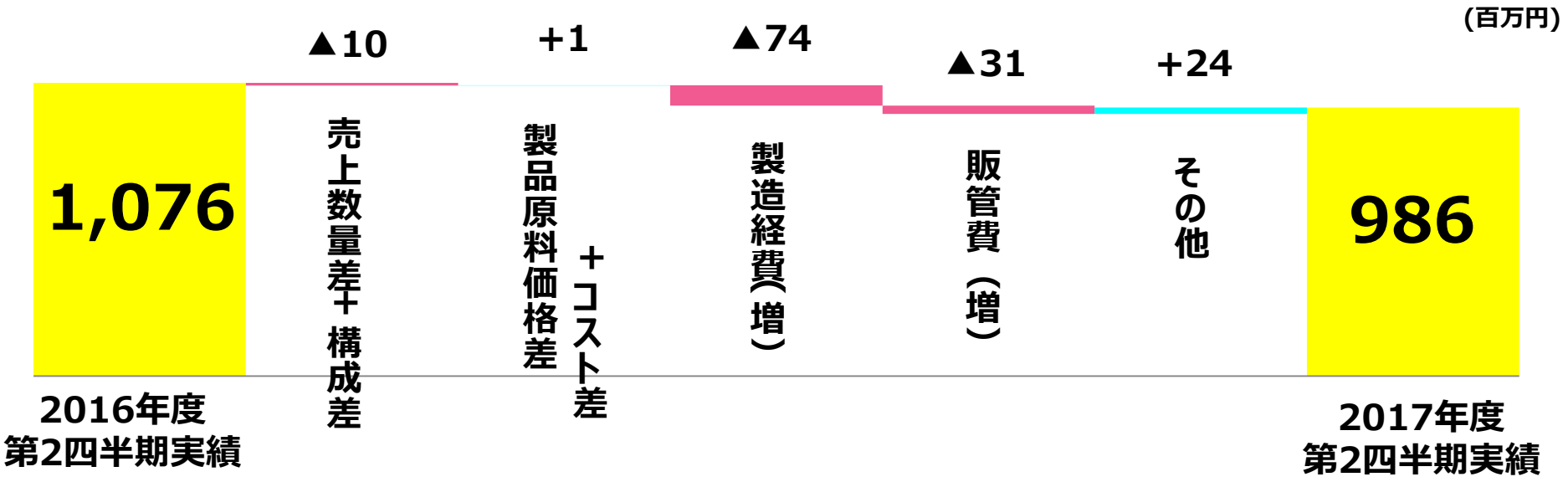


Ⅱ.2017年度 第2四半期決算（連結）営業利益増減分析

（２）営業利益増減分析（前年同期比）

前年度10億7,600万円

→ 当期　9億8,600万円（▲9,000万円、▲8.4%）



・人件費を中心とした製造経費、販管費の増加（▲1億500万円）

Ⅱ.2017年度 第2四半期決算（連結） 連結貸借対照表

(百万円) 科　　目	2016年 12月末	2017年 6月末	前期比
現金・預金	1,361	1,860	+499
受取手形・売掛金	10,905	9,377	▲1,528
たな卸資産	3,190	3,428	+238
短期貸付金	3,716	3,267	▲449
その他の流動資産	512	510	▲2
流動資産 合計	**19,684**	**18,442**	**▲1,242**
有形固定資産	9,053	9,178	+125
無形固定資産	95	106	+11
投資その他の資産	1,281	2,140	+859
固定資産 合計	**10,429**	**11,424**	**+995**
資産合計	**30,113**	**29,866**	**▲247**

科　　目	2016年 12月末	2017年 6月末	前期比
支払手形・買掛金	3,579	3,214	▲365
短期借入金	830	830	±0
その他流動負債	2,972	2,366	▲606
流動負債 合計	**7,381**	**6,410**	**▲971**
退職給付引当金	-	-	-
退職給付に係る負債	823	666	▲157
その他の固定負債	285	334	**+49**
固定負債合計	**1,108**	**1,000**	**▲108**
負債合計	**8,489**	**7,410**	**▲1,079**
株主資本：			
資本金	2,000	2,000	±0
資本剰余金	1,566	1,566	±0
利益剰余金	18,257	18,979	+722
自己株式	▲104	▲104	±0
その他包括利益累計額：			
為替換算調整勘定	108	118	+10
その他	▲203	▲103	+100
非支配株主持分	0	0	±0
純資産合計	**21,624**	**22,456**	**+832**
負債及び純資産合計	**30,113**	**29,866**	**▲247**

自己資本比率	**71.8%**	**75.2%**

- **実質無借金経営を継続**
- **当期末の自己資本比率は75.2%**

II.2017年度 第2四半期決算（連結）PL／CF

損益計算書

(百万円) 科　　目	2016年度 (1-6月)	2017年度 (1-6月)	前期比
売上高	12,012	11,787	▲225
売上原価	8,744	8,569	▲175
売上総利益	**3,267**	**3,217**	▲50
販売管理費	2,191	2,231	+40
営業利益	**1,076**	**986**	▲90
金融収支	8	8	±0
為替差益	▲172	▲24	+148
その他	70	141	+71
経常利益	**983**	**1,111**	+128
特別利益	77	77	±0
特別損失	1	3	+2
税金等調整前損益	**1,059**	**1,185**	+126
法人税等	238	281	+43
当期純利益	**820**	**903**	**+83**

・**現金および現金等価物の期末残高は18億6千万円**

キャッシュ・フロー

(百万円)		2016年度 (1-6月)	2017年度 (1-6月)
営業活動によるCF	税金等調整前当期純利益	1,059	1,185
	減価償却費	432	434
	法人税等の支払額	▲321	▲376
	運転資本の増減額	735	582
	その他	1	▲271
	計	**1,906**	**1,554**
投資活動によるCF	有形固定資産の取得による支出	▲375	▲686
	無形固定資産の取得による支出	▲5	▲25
	有形・無形固定資産の売却による収入	0	116
	投資有価証券の取得による支出	▲152	▲719
	短期貸付金の純増減額	▲804	449
	その他	5	5
	計	**▲1,331**	**▲860**
財務活動によるCF	配当金の支払額	▲181	▲181
	その他	▲5	▲5
	計	**▲186**	**▲186**
現金および現金等価物に関わる換算差額		▲67	▲7
現金および現金等価物の増減額		321	499
現金および現金等価物の期首残高		817	1,361
現金および現金等価物の期末残高		**1,138**	**1,860**

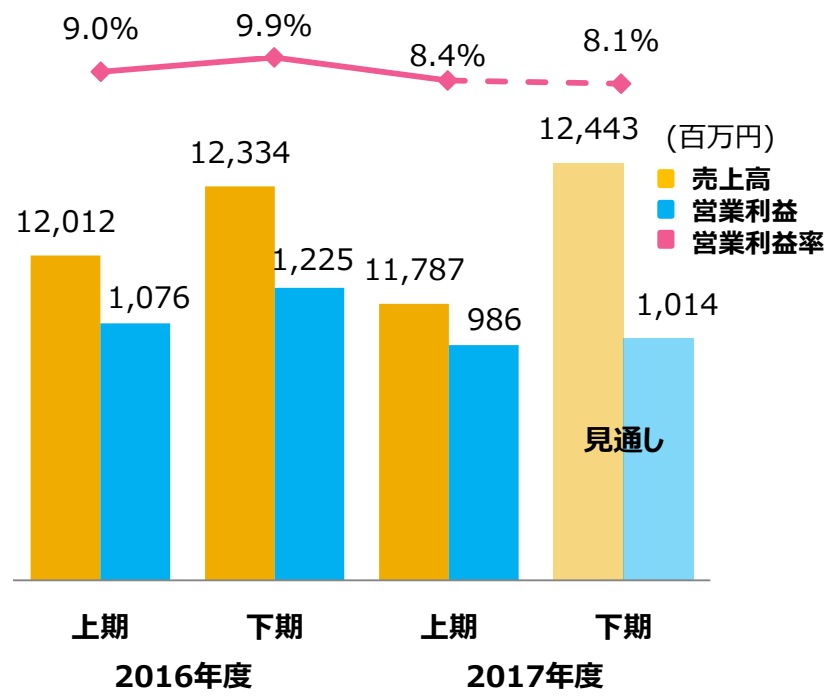
Ⅲ.2017年度 通期業績見通し（連結）

（１）決算の概況

(百万円)	2016年度	2017年度	前年同期比	
	実績	見通し	増減	増減率
売上数量(トン)	166,512	164,972	▲1,540	▲0.9%
売上高	24,346	24,230	▲116	▲0.5%
営業利益	2,301	2,000	▲301	▲13.1%
営業利益率	9.5%	8.3%	-	-
経常利益	2,314	2,180	▲134	▲5.8%
経常利益率	9.5%	9.0%	-	-
当期純利益	1,794	1,740	▲54	▲3.0%
減価償却費	902	925	+23	+2.5%
設備投資	883	1,548	+665	+75.3%
研究開発費 （対売上高比率）	1,719 (7.1%)	1,752 (7.2%)	+33	+1.9%

下期見通しは為替1ドル=114円、ナフサ価格36,000円を前提としております。
（2017年通期見込 為替1ドル=113円、ナフサ価格38,200円）
（2016年通期実績 為替1ドル=109円、ナフサ価格32,800円）

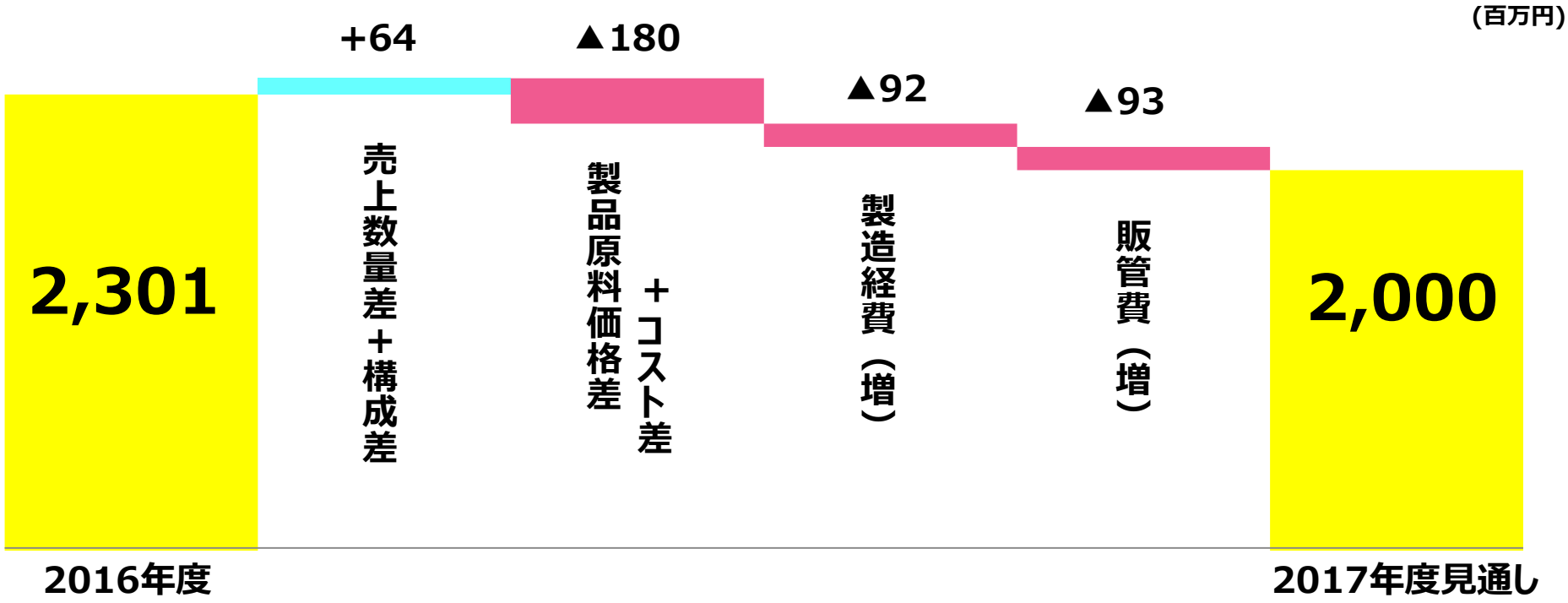
- **売上数量、売上高はともに減少**
  →下期増販に努めるも、通期でも若干の減収
- **営業利益は13.1%の減益**
  →製品・原料価格差、経費増



Ⅲ.2017年度 通期業績見通し（連結） 営業利益増減分析

（２）営業利益増減内訳

2016年度実績　→　2017年度見通し
23億100万円　→　20億円（▲3億100万円、▲13.1%）



・製品/原料価格差＋コスト差（▲1億8,000万円）

・人件費を中心とした製造経費、販管費の増加（▲1億8,500万円）

Ⅳ.事業別動向（製紙用薬品事業）

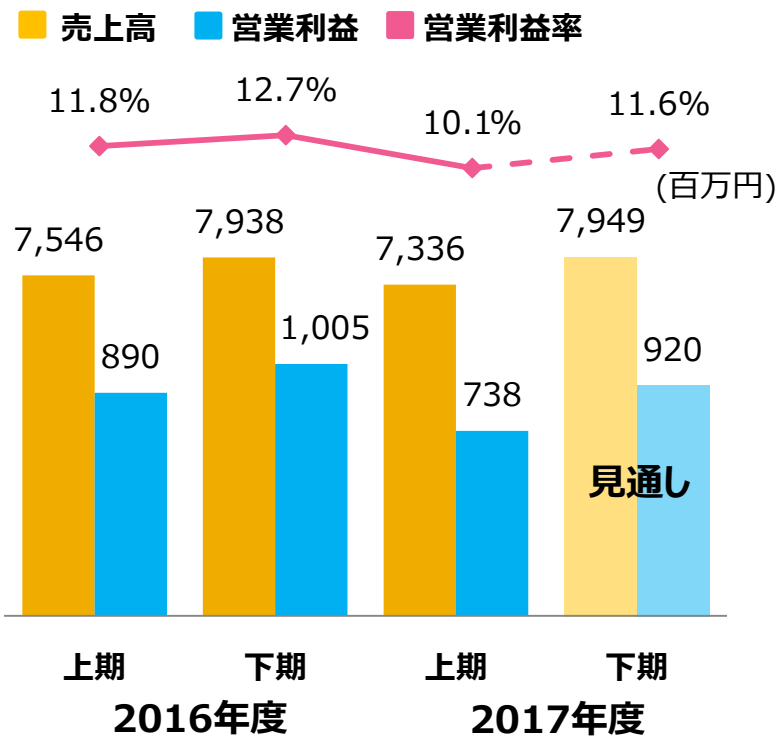
第2四半期実績					通期見通し			
（百万円）	2016年（1-6月）	2017年（1-6月）	増減	増減率	2016年度	2017年度	増減	増減率
売上高	7,546	7,336	▲210	▲2.8%	15,484	15,285	▲199	▲1.3%
営業利益	890	738	▲152	▲17.0%	1,895	1,658	▲237	▲12.5%

上期業績ハイライト

- 売上高：差別化製品を投入するも、対抗メーカーとの競争激化、製品価格の下落の影響で減収
- 営業利益：売上減、経費増により減益

2017年度見通し

- 売上高　：下期売上拡販に努めるも、上期減販の影響で通期減収の見込み
- 営業利益：原料価格上昇の影響で減益の見込み



Ⅳ.事業別動向（樹脂事業）

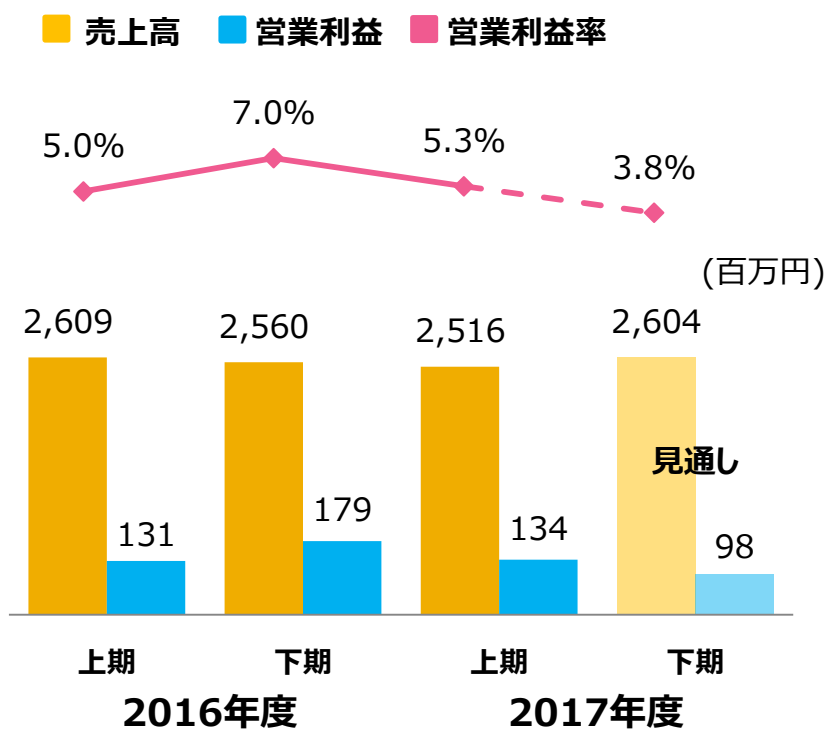
第2四半期実績					通期見通し			
（百万円）	2016年（1-6月）	2017年（1-6月）	増減	増減率	2016年度	2017年度	増減	増減率
売上高	2,609	2,516	▲93	▲3.6%	5,169	5,120	▲49	▲1.0%
営業利益	131	134	+3	+2.2%	310	232	▲78	▲25.2%

上期業績ハイライト

- 売上高：新聞インキ・オフセットインキ市場悪化の影響を受け、販売数量が減少
- 営業利益：国内は高付加価値製品の販売増を進める

2017年度見通し

- 売上高　：国内は減収、中国において水性インキ用樹脂を拡販
- 営業利益：国内は製品ポートフォリオの高付加価値化を進めるも原料価格上昇の影響で減益の見込み



Ⅳ.事業別動向（化成品事業）

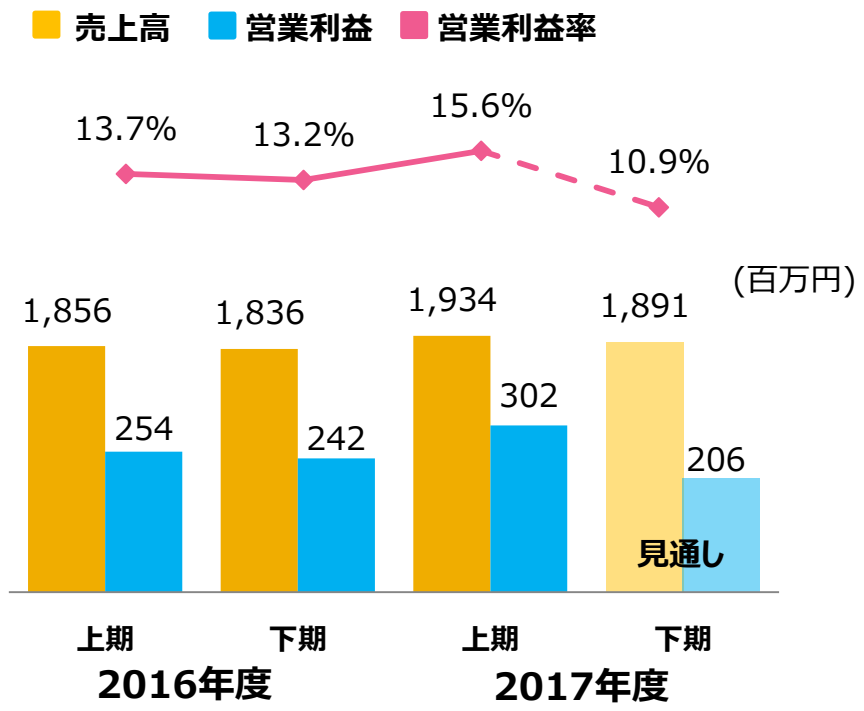
第2四半期実績					通期見通し			
（百万円）	2016年（1-6月）	2017年（1-6月）	増減	増減率	2016年度	2017年度	増減	増減率
売上高	1,856	1,934	+78	+4.2%	3,692	3,825	+133	+3.6%
営業利益	254	302	+48	+19.0%	496	508	+12	+2.4%

上期業績ハイライト

- 売上高：水系塗料向け輸出好調により増収
- 営業利益：増販効果により増益

2017年度見通し

- 売上高 ：輸出を中心に、通期でも増収を維持
- 営業利益：修繕費や認可申請等の下期集中で
  コスト増があるが通期でも増益を維持



Ⅳ.事業別動向（新規開発）ーCNFー

セルロースナノファイバー（CNF）

・植物由来の軽量、高強度次世代バイオマス素材

当社

変性剤

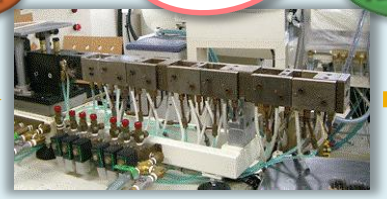
樹脂

ココで ナノ解繊

複合化

木材
パルプ

変性
セルロース



混練機

CNF配合樹脂
ペレット

成形加工メーカー

射出成型物

発泡成形物

・マーケティング機能の強化
自動車・建材・電子機器等の構造材料用途を中心に、事業性を見据えながら、シーズとニーズのマッチング・開発を加速

・商業化に向けた生産体制構築

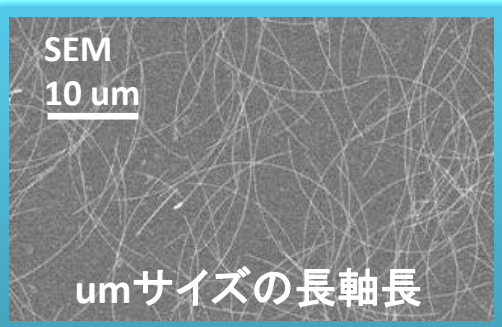
・開発・製造・販売における競争力向上を目的とした協業の検討

2017年新機能性材料展での当社発表

Ⅳ.事業別動向（新規開発）ー銀ナノワイヤー

銀ナノワイヤ

銀ナノワイヤ インク



銀ナノワイヤ

特徴

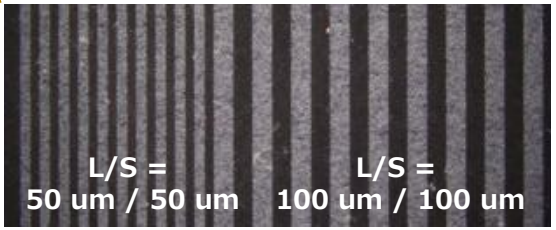
- 形状由来の透明性
- 銀由来の高い導電性
- 折り曲げに強い柔軟性

コーティング

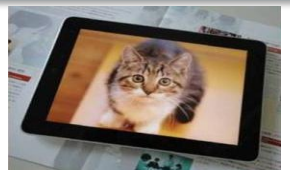
透明導電フィルム

印刷

パターニング



透明電極



タッチパネル

フレキシブルディスプレイ

ウェアラブルデバイス

各種用途に適した銀ナノワイヤを高品質かつ安定的に提供することで、市場ニーズをビジネスチャンスに転換

Ⅴ.中期経営計画「CS VISION-Ⅱ」

（単位：百万円）

	2016年度実績		2017年度				2018年度計画	
			見通し		中計2年目計画値			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
製紙用薬品事業 営業利益率	15,484	1,895 12.2%	15,285	1,658 10.8%	*16,684*	*1,561* *9.4%*	17,334	1,700 9.8%
樹脂事業*1 営業利益率	5,169	310 6.0%	5,120	232 4.5%	*5,173*	*145* *2.8%*	5,866	478 8.1%
化成品事業 営業利益率	3,692	496 13.5%	3,825	508 13.3%	*3,797*	*351* *9.2%*	4,000	448 11.2%
共通費・ 連結調整*2		▲401		▲398		*▲422*		▲426
合計	24,346	2,301	24,230	2,000	*25,653*	*1,635*	27,200	2,200

＊1：樹脂事業には新規開発分を含みます。
＊2：共通費の主なものは、上記各事業に帰属しない研究開発費です。
＊3：中期経営計画の前提条件：為替1ドル＝123円、ナフサ価格43,000円

（ご参考）中期経営計画「CS VISION-Ⅱ」　戦略

（１）国内事業基盤の強化

①製紙用薬品事業

成熟市場の中で
- 差別化されたソリューションの提供
- 製品の高性能化、新たな薬品の開発
  → 顧客との関係強化、市場シェア拡大

②樹脂事業

- 製品ポートフォリオの見直し
  ①競争力のある水性インキ用樹脂販売注力
  ②不採算品→高採算品への入替
- 生産体制の再構築
  工場設備合理化、
  工場ごとの生産品目見直し

③化成品事業

- 「○○くっつく○○」「○○混ざる○○」のコンセプトのもと機能性創造モノマー・オリゴマーの提供による、確固たる事業基盤の構築
- 3Dプリンター分野に向けた新素材開発と販売

（ご参考）中期経営計画「CS VISION-Ⅱ」　戦略

（２）事業領域の拡大

①海外事業展開の加速

・製紙用薬品事業
　→　製品ポートフォリオを拡充し、
　　海外生産工場を最大限活用
・樹脂事業
　→　中国での印刷インキ水性化ニーズへの対応

②新規開発事業

・セルロースナノファイバー(CNF)
・銀ナノワイヤ
　→　事業化へ向けた取組の継続
・さらなる新規事業探索・事業化

（３）外部資源の活用

上述の戦略を遂行するために
　→　当社及び他社の事業インフラの活用
　　（業務・資本提携の検討）
　→　M&Aの積極的な活用